

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 10 月 26 日 (2006.10.26)

【公開番号】特開 2005-225779 (P2005-225779A)  
 【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-033  
 【出願番号】特願 2004-33983 (P2004-33983)  
 【国際特許分類】

**C 0 7 C 27/00 (2006.01)**  
**B 0 1 J 38/04 (2006.01)**  
**C 0 7 C 29/04 (2006.01)**  
**C 0 7 C 31/12 (2006.01)**  
**C 0 7 C 45/27 (2006.01)**  
**C 0 7 C 49/10 (2006.01)**  
**C 0 7 B 61/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 27/00  
 B 0 1 J 38/04 Z  
 C 0 7 C 29/04  
 C 0 7 C 31/12  
 C 0 7 C 45/27  
 C 0 7 C 49/10  
 C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 9 月 12 日 (2006.9.12)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 3 5  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 3 5】

[ 参考例 6 ] ( 触媒 F の調製 )

塩化第二スズ 5 水塩の代わりに四塩化チタンを用いた以外は参考例 1 とほぼ同様の方法で Ti 及び Mo の酸化物からなる触媒 F を調製した。この触媒 F の組成は、TiO<sub>2</sub> 44 質量%、MoO<sub>3</sub> 17 質量%、SiO<sub>2</sub> 39 質量%であった。この触媒 F の Mo / ( Ti + Mo ) 原子比は 0 . 1 8 であり、流動床触媒に好適な滑らかな球形をし、十分な機械的強度を有していた。